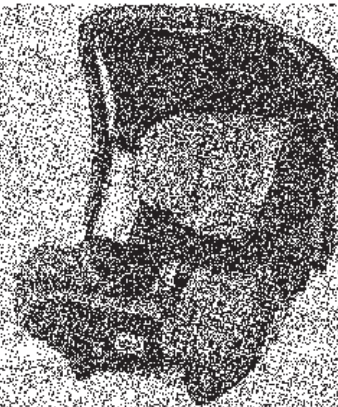


■製造国
 BPFITAX RÖMER Kindersicherheit GmbH
 Blaubeurer Straße 24, D-69077 Ulm, Germany
 ■販売店
 伊藤忠商事株式会社
 ■連絡先
 VEC(イー・ヴェー・シー)株式会社
 〒100-0002 東京都中央区八丁堀4-7-1
 TEL: 03-5561-0033

www.roemer.jp



Premium Safety

—イーシー
 イー・ヴェー・シー

MADE IN GERMANY

\動画で見る/



チャイルドシート取扱説明書

ローマー・イー・シー・プレミアム Baby safe Premium 123

ECE 44/04

本製品はECE R44/04規格に適合し、
 汎用型（イー・シー）型チャイルドシート
 として認定されています。[ECE 規格]に
 適合してあります。

体重 新生児～13kgまで

身長 新生児～80cm以下

年齢 新生児～18ヶ月まで

【サイズ】 幅44.5×奥行67.5×高さ58cm(キャリングハンドルUP時) 【重量】 3.8kg

RÖMER

ローマー・ベビーセーフ プレミアム

Babysafe Premium

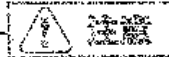


この度はローマー・ベビーセーフ プレミアムをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みいただき、正しい取扱方法によりご愛用くださる様お願い致します。

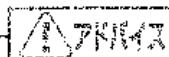
この取扱説明書はなくさない様、常にローマー・ベビーセーフ プレミアム本体に保管しておいてください。特に、大切なことがらについては以下のようなシンボルマークを用いて案内しております。



指示に従わないと死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの。



指示に従わないと傷害をうける可能性があるもの。



当製品を安全・確実・快適にご使用いただくためのアドバイスを記載しています。

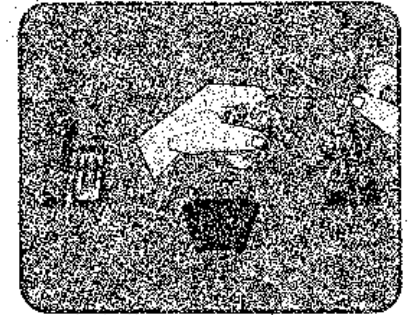
注意

1. このチャイルドシートは、「汎用 (Universal)」型のチャイルドシートとして、自動車で使用するものとしてECE規則第44号の第4改訂版に基づいて認可されており、一部の自動車を除いた座席に適合しています。
2. 自動車製作者の取扱説明書にこの年齢層向けの「汎用 (Universal)」型のチャイルドシートを搭載できると明記されている自動車には、殆どの場合、このチャイルドシートを取り付けることができます。
3. このチャイルドシートは、この注意書きが貼付されていない従来型のチャイルドシートよりも、厳しい条件に基づき、「汎用 (Universal)」型のチャイルドシートに分類されています。
4. なお、不明な点につきましては、チャイルドシートの販売元又は販売店にお問い合わせください。

e. ラップベルト (腰ベルト) の取扱い

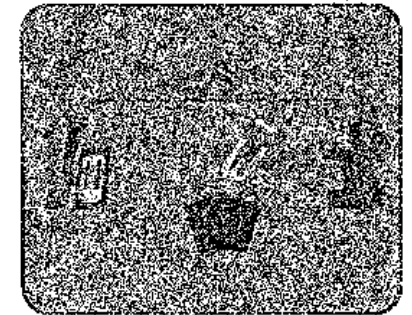
腰ベルトの取外し

1. 座面部カバーを取外した状態でシートシェルのサイドスロットにラップベルト (腰ベルト) を押し込みながら、金属プレートを掴み引っ張り出したあと、金属プレートの切れ込みが長い方にベルトループを押し込み、取外します。

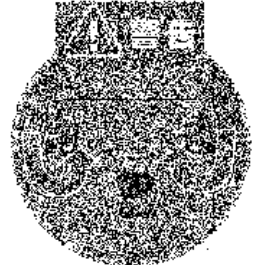


腰ベルトの取付け

1. 座面部のカバーを取外した状態で、ラップベルト (腰ベルト) を外側のサイドスロットから内側のサイドスロットに通し、金属プレートをベルトループに差し込み取付けます。



ハーネスを取付ける際、必ずサイドスロットの外側の通し穴から中心に向かって通し、金属プレートを取付けてください。また、ねじれがないか確認してください。

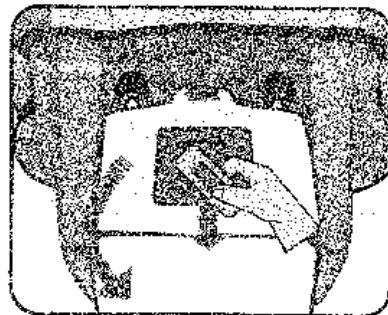


目次

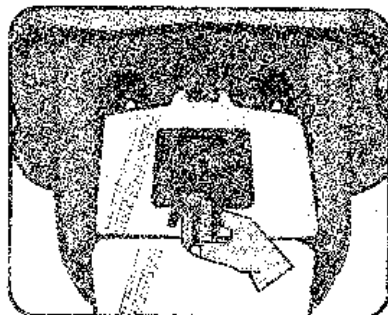
目次

目次

1. レーマー・ベビーセーフプレミアム
のバックルボタンを押し、
プレートを外したあと、レー
マー・ベビーセーフプレミアム
の裏側にある取扱説明書保管
ポケットを開き、金属プレート
を引っ張ります。



2. 金属プレートを90度回転させ、
ハーネス(股ベルト)に添わせ
ながらベルトスロットに押し
込み、表側よりバックルを引き
出し、取外します。



目次

1. 取付ける際は、金属プレートを
90度回転させ、レーマー・ベビ
ーセーフプレミアム座面側より
バックルを押し込みます。



目次

バックルが後向きにならないように
注意してください。

目次

「警告」・「注意」・「ヒント」マーク説明	1
■ 取付け及び取扱い上の注意事項	3
a 警告	3
b 注意	5
■ ② こんな車両には取付けできません	6
a 車両への推奨取付け座席	6
■ ③ 車両シートベルトの種類と取付け注意点	7
■ ④ 各部の名称	9
■ ⑤ ハーネスの調節と赤ちゃんの乗せ方	11
a キャリングハンドルの調節	11
b バックルとプレートの取扱い	13
c ハーネス(肩ベルト)・ラップベルト(腰ベルト)の長さ調節	14
d ハーネスの高さ調節	15
e 赤ちゃんの乗せ方	16
f チェックリスト	18
■ ⑥ 車両への取付方法	19
a チェックリスト	25
■ ⑦ 車両からの取外し方法	27
■ ⑧ サンシェードの取扱い	29
■ ⑨ お手入れ方法	30
a お手入れ方法	30
b シートカバーの取外し	31
c シートカバーの取付け	34
d バックルの取扱い	37
e ラップベルト(腰ベルト)の取扱い	38

取付け及び取扱い上の注意事項

警告

レーマー・ベビーセーフプレミアムは、体重13kg位(身長80cm位)まで、目安として生後18ヶ月位までの赤ちゃんに使用してください。この条件を満たさない赤ちゃんには使用しないでください。



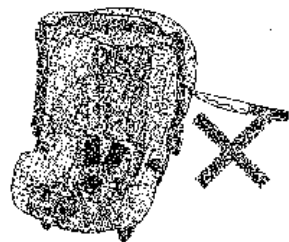
レーマー・ベビーセーフプレミアムを取付けする前に、車両の取扱説明書の「チャイルドシートの使用」に関する諸注意を確認し、取扱説明書に従って常に正しい取付けを行ってください。



エアバックを装備している助手席での使用はできません。事故の際、エアバックが膨らんでケガをするおそれがあり危険です。必ず車両後部座席に取付けしてください。



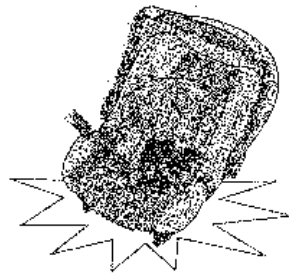
車両シートベルト及びレーマー・ベビーセーフプレミアムのハーネスを鋭利なもので傷つけないようご注意ください。万一の時大変危険です。



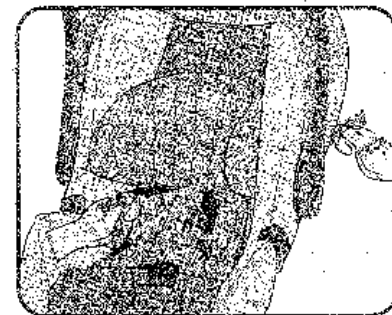
レーマー・ベビーセーフプレミアムはシートカバーなしに使用しないでください。また、このシートカバーは拘束性能にも影響を与えるおそれがあるため、弊社が推奨するもの以外と取替えないようにしてください。



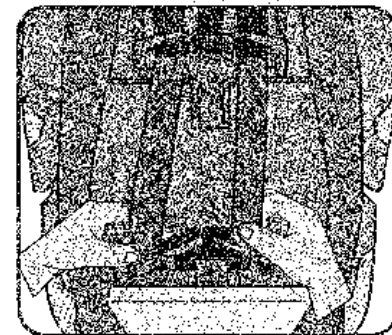
衝突速度が10km/h程度の事故や、うっかり落としてしまったり、車両ドアを閉める際にレーマー・ベビーセーフプレミアムにぶつかるなどでも破損する場合があります。外見上は破損・変形の跡が見えなくても交換してください。



5. 肩パッドにハーネス(肩ベルト)を通し、さらにヘッドサポートのハーネス通し穴に通したあと、レーマー・ベビーセーフプレミアム背面より引き出します。

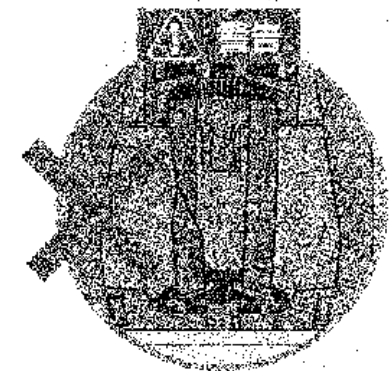


6. レーマー・ベビーセーフプレミアム本体裏側でハーネス(肩ベルト)をハーネスハンガーに取付けます。



警告

取付けの際、レーマー・ベビーセーフプレミアムのハーネス(肩ベルト)がねじれていないかを確認してください。



目お手入れ方法

C.シートカバーの取付け

3. レーマー・ベビーセーフプレミアム本体裏側にある★印のフックにシートカバーのゴムベルトを、シートベルトガイドにある✳印のフックにシートカバーをそれぞれ取付けます。

★印のフックは、
左右6ヶ所あります。

✳印のフックは、
左右2ヶ所あります。

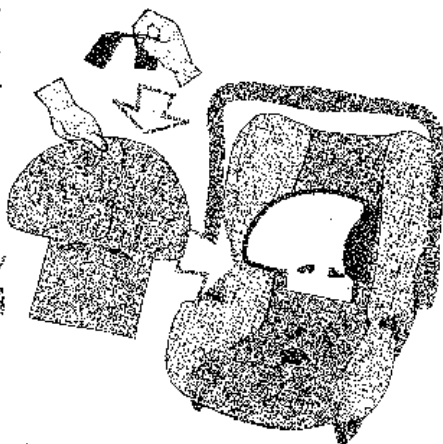
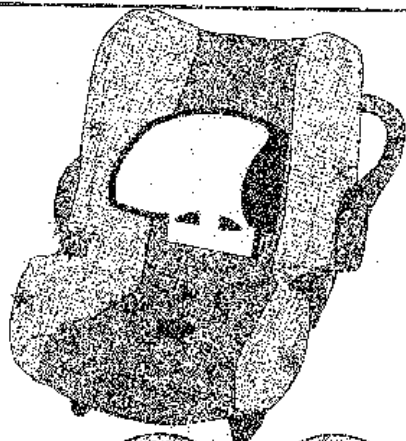
4. ヘッドサポートカバー裏側より肩パットを取付けたあと、ヘッドサポートカバーをヘッドサポートに下部から上部に、慎重に取付けます。

注意

ヘッドサポートカバーを取外す際、ヘッドサポートの発泡ポリスチレンを破損しないよう注意してください。

警告

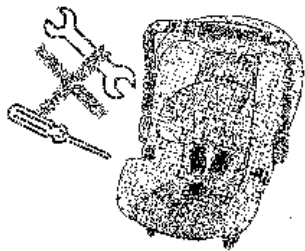
ヘッドサポートの裏側にあるクッションは、ハーネスポジションが一番下の状態でのみ使用可能となります。それ以外のポジションでは、必ず取外してください。



レーマー・ベビーセーフプレミアムは、必ず車両後部座席に車両の進行方向に対して後向きに設置し、車両3点式シートベルトを使用して取付けてください。2点式シートベルトでは使用できません。また、横向きや前向きには絶対に使用しないでください。



レーマー・ベビーセーフプレミアムは、必ず車両後部座席に車両の進行方向に対して後向きに設置し、車両3点式シートベルトを使用して取付けてください。2点式シートベルトでは使用できません。また、横向きや前向きには絶対に使用しないでください。



車両3点式シートベルト及びレーマー・ベビーセーフプレミアムのハーネスがよじれたり、たるんだりしていないこと、赤ちゃんがしっかりと固定されていることを確認してください。



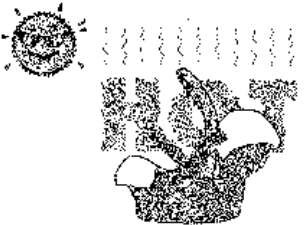
衝突の際に損傷の原因となる車内の荷物やおもちゃ、カーアクセサリーなどは、適切に固定するか、何も置かないでください。急ブレーキや事故の際、非常に危険です。



レーマー・ベビーセーフプレミアム同様、車両後部座席に乘车する大人もシートベルトをしっかり締めるよう心がけてください。事故などの際に他の乗員を傷つける可能性があります。



レーマー・ベビーセーフプレミアムに日光が当たりますと熱くなることがあります。大人が熱さの程度を確認し、火傷のおそれのないことを確認のうえ、ご使用ください。



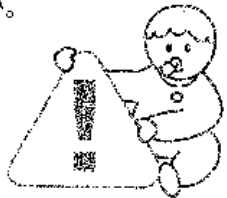
スライド式シートまたは車両のドア部と、レーマー・ベビーセーフプレミアムが挟まれないようにしてください。



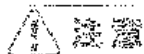
レーマー・ベビーセーフプレミアムに赤ちゃんを乗せたまま車両から隠れないでください。不慮の事故につながるおそれがあります。



本書事項に従わない場合に発生した事故、その他については、当社は一切責任を負いかねますので、ご了承ください。



取付け及び取扱い上の注意事項

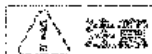


注意

- 車両のシート形状によっては、くぼみなどによりレーマー・ベビーセーフ プレミアムが安定しないことがあります。そのような場合には、レーマー・ベビーセーフ プレミアムの下にかためのクッションや毛布等を敷いて平らにしてください。
- 車両の座席が本革やペロアなど傷つきやすい素材の場合、座席にタオルなどを敷いてからレーマー・ベビーセーフ プレミアムを取付けてください。
- レーマー・ベビーセーフ プレミアムを車両に取付ける際、車両のドアに挟まれたりなどでケガをしないよう、十分注意してください。
- 赤ちゃんを乗せている時は、特に慎重な運転を心がけてください。
- 走行中に、赤ちゃんを乗せたレーマー・ベビーセーフ プレミアムを動かしたり、授乳、車両3点式シートベルトやレーマー・ベビーセーフ プレミアムのハーネスなどの調節は行わないでください。また、車両への取付けは停車中に行ってください。
- 長時間走行する場合、赤ちゃんには定期的に休憩をとらせるようにしてください。
- レーマー・ベビーセーフ プレミアムを車両から取外す際、車両バックルの解除は、必ず車両3点式シートベルトを手で持って取外してください。バックルを急に解除すると、巻取装置により3点式シートベルトが急に跳ね上がり、赤ちゃんがケガをする場合がありますので十分注意してください。
- 赤ちゃんを乗せないでレーマー・ベビーセーフ プレミアムを車両に積んでおく場合にも、車両3点式シートベルトで固定しておいてください。
- 自宅など車両以外の使用の際も、赤ちゃんは必ずレーマー・ベビーセーフ プレミアムのハーネスで固定してください。また、滑りやすい場所、ひっくり返る可能性のある場所等では絶対に使用しないでください。

C.シートカバーの取付け

1. シートカバーをヘッドサポートの左側に通したあと、慎重に右側上部から下部に通し、シートカバーをヘッドサポートに完全に通します。

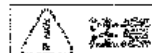


注意

シートカバー取付けの際、ヘッドサポートの発泡ポリスチレンを破損しないよう注意してください。

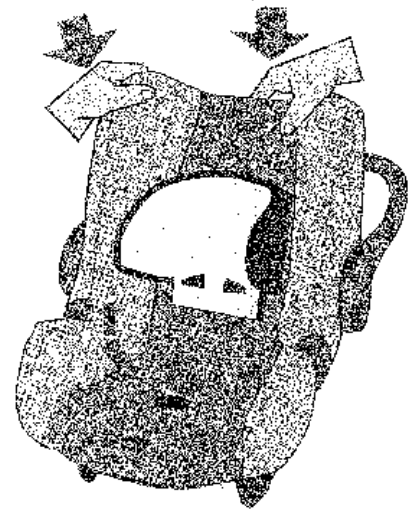


2. レーマー・ベビーセーフ プレミアム本体にシートカバーをかぶせ、ハーネス(肩ベルト・腰ベルト)、バックル、アジャストストラップを通します。



注意

シートカバー取付けの際、レーマー・ベビーセーフ プレミアム本体の発泡ポリスチレンを破損しないよう注意してください。



目 お手入れ方法

b. シートカバーの取外し

7. シートカバーのベルト穴にハーネス(肩ベルト・腰ベルト)、バックル、アジャストストラップを通し、シートカバーを取外します。



8. 最後にヘッドサポート上部から下部に向かって、慎重にシートカバーを取外します。



⚠ 注意

シートカバー取外しの際、レーマー・ベビーセーフプレミアム本体及びヘッドサポートの発泡ポリスチレンを破損しないよう注意してください。

目 こんな車両には取付けてできません

- エアバックが装備されている助手席
- 2点式シートベルトの座席
- シートベルトのついていない座席
- 3点式シートベルトに損傷がある場合
- 車両の進行方向に対して横向き、または後向きの座席
- 3点式シートベルトが短く、確実に固定できない座席
- 3点式シートベルトの腰ベルト側に巻取装置の付いた座席
- パンプシートベルトの付いている座席(前席に座ってドアを閉じると自動的にシートベルトが装着されるシートベルト)
- バケットシートなどの凹凸のある座席や、レーマー・ベビーセーフプレミアムを車両座席に乗せて不安定な座席
- 3点式シートベルトのバックルが、レーマー・ベビーセーフプレミアムのベルトガイドに当たり、しっかりと取付けできない座席

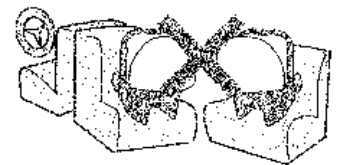
● エアバックの付いている助手席



● 2点式シートベルトの座席(後席中央などの補助席)



● 進行方向に対して横向き、または後向きの座席

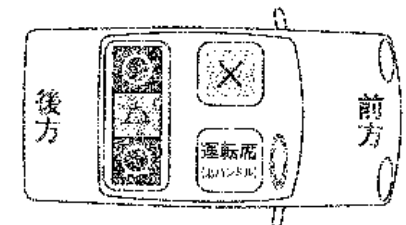


2. 車両への推奨取付け座席

⚠ 注意 レーマー・ベビーセーフプレミアムは、後部座席左右に取付けることを推奨します。

■ 推奨取付座席

後部座席左右	推奨
後部座席中央	3点式シートベルトを装備の場合のみ可能
助手席	エアバックが装備されていない場合に限り車両の取扱説明書に従って取付けしてください。



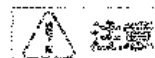
目 車両シートベルトの種類と取付け注意点



レーマー・ベビーセーフプレミアムは、車両3点式シートベルトで装着してください。2点式シートベルトでは使用できません。

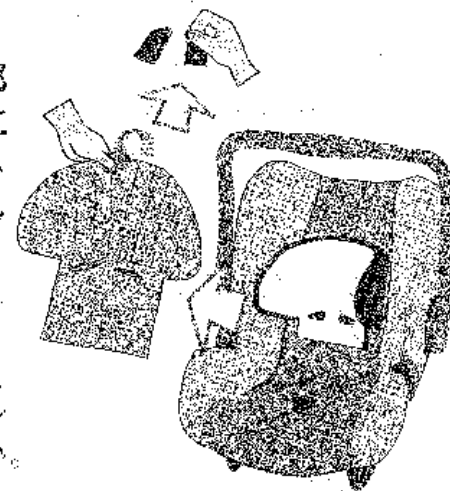
車両シートベルトの種類	特 徴
2点式シートベルト	レーマー・ベビーセーフ プレミアムを ないでください。
ELR・ALR(チャイルドシートロック機構) 付き3点式シートベルト	通常はELRの機能だが、シートベルトを 全量引き出すとALRの機能に切り替わる シートベルト。
ELR(緊急ロック式ベルト巻取装置) 付き3点式シートベルト	ELRシートベルトとは、ベルトをゆっく り引き出せば自由に出入りするが、急に 引き出したり、急ブレーキ等のショック を与えるとロックされるシートベルトで、 自動車の3点式シートベルトのほとん どにELRが使われています。
ALR(自動ロック式ベルト巻取装置) 付き3点式シートベルト	シートベルトを引き出す途中で手を止め るとベルトが自動ロックされ、それ以上 引き出せないシートベルト。
NLR(非ロック式ベルト巻取装置) 付き3点式シートベルト	ロック機能がなく、シートベルトを全部 引き出し、長さ調節して使用するシート ベルト。
マニュアル式 3点式シートベルト	巻取装置のない3点式シートベルト。

4. ヘッドサポートカバーを上部から下部に、引きながら慎重に取外したあと、ヘッドサポートカバーから肩パットを取外します。



注意

ヘッドサポートカバーを取外す際、ヘッドサポートの発泡ポリスチレンを破損しないよう注意してください。



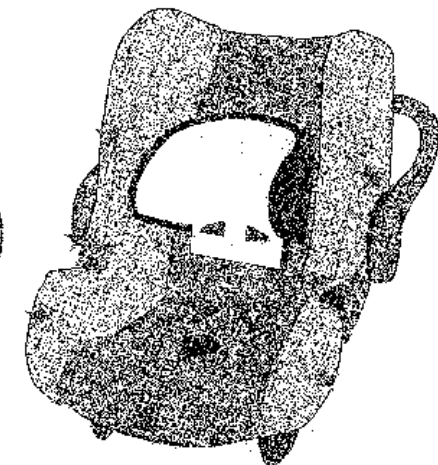
5. レーマー・ベビーセーフ プレミアム本体裏側にある ★印のフックからシートカバーのゴムベルトを外します。

★印のフックは、
左右6ヶ所あります。



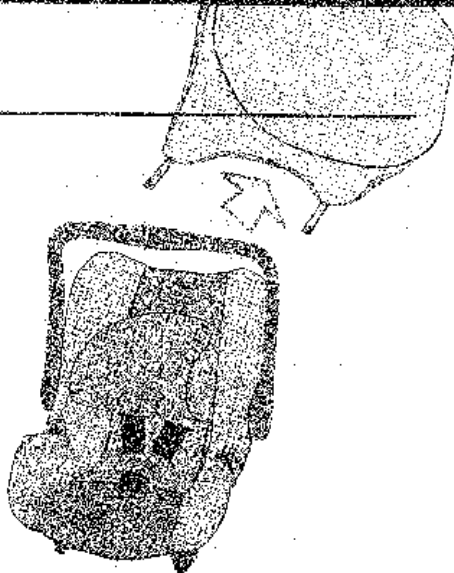
6. シートベルトガイドの内側にある ▼印のフックからシートカバーを取外します。

▼印のフックは、
左右2ヶ所あります。



b.シートカバーの取外し

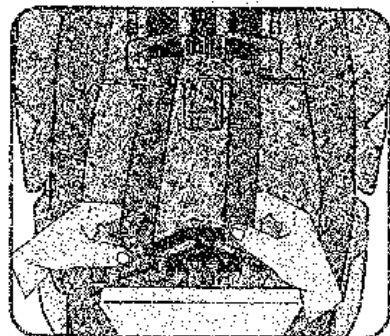
1. サンシェードを取外します。
(8.「サンシェードの取扱い」参照)




2. バックルからプレートを外し、
左右に分け、ハーネス(肩ベルト)
を緩めます。



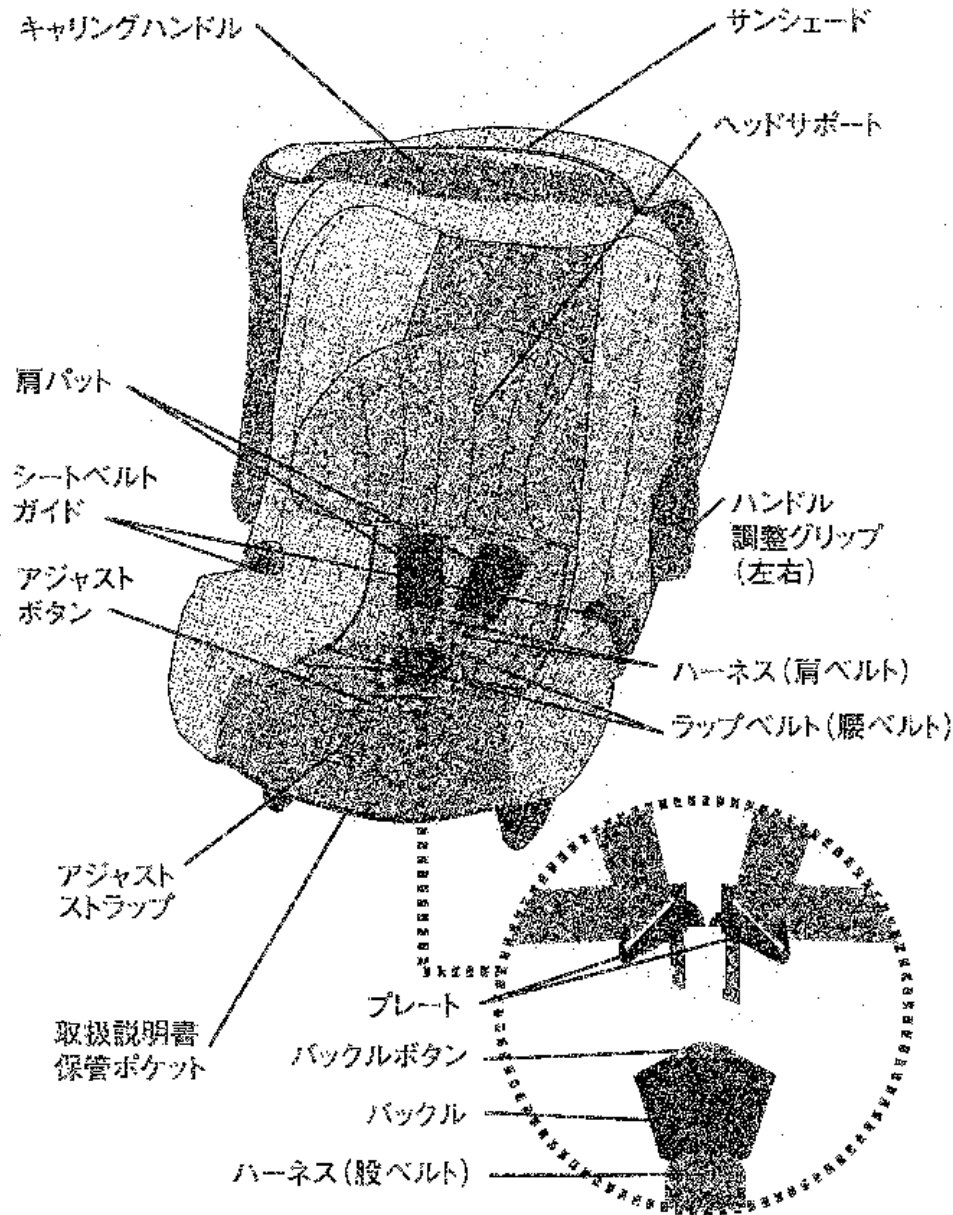
3. レーマー・ベビーセーフ プレミアム裏側よりハーネス(肩ベルト)をハーネスハンガーから取外し、表側より引き抜きます。



(ECE規則No.16または同等の基準に基づいて認可された3点式シートベルトを装備した記載車種に限り使用するのに適しています。)

 取付けの際の注意点	レーマー・ベビーセーフ プレミアム
固定することができないので取付け	×
レーマー・ベビーセーフ プレミアムは、ELR・ALR (チャイルドシートロック機構)いずれの機能でも取付けできます。	○
走行中にシートベルトが緩み、レーマー・ベビーセーフ プレミアムがずれる危険があります。シートベルトガイド・ベルトホルダーにしっかりとかかっているかどうか確認してください。	
レーマー・ベビーセーフ プレミアムを取付ける際には、途中で自動的にロックされないようにゆっくりとシートベルトを引き出して取付けてください。	
巻取装置からシートベルトを全量引き出し、レーマー・ベビーセーフ プレミアムに合わせてシートベルトの長さを調節し、取付けてください。	
レーマー・ベビーセーフ プレミアムに合わせてシートベルトの長さを調節し、取付けてください。	

4 各部の名称



9 お手入れ方法

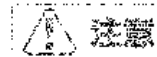
a. お手入れ方法

レーマー・ベビーセーフ プレミアムのシートカバー、ヘッドサポートカバー、肩パット、バックル、5点式ハーネス(肩ベルト・腰ベルト)、サンシェードは、簡単に取外して洗濯することができます。

1. シートカバー、ヘッドサポートカバー、肩パット、バックル、5点式ハーネス(肩ベルト・腰ベルト)、サンシェード

レーマー・ベビーセーフ プラスから取外して、30℃位のぬるま湯に中性洗剤を入れて、手洗いしてください。

バックルは、ゴミや食べかすなどが入ると開閉しづらくなる可能性があります。その際は、バックルを30℃位のぬるま湯に中性洗剤を入れ、30分ほどつけおきしてから洗ってください。



注意

- 30℃以上のお湯で洗濯すると、色落ちする可能性があります。
- 乾燥は、自然乾燥で行ない、脱水機や乾燥機、アイロンは絶対に使用しないでください。
- プレートはハーネスから取外すことができません。絶対に取り外さないでください。

2. シート本体

中性洗剤や薬品類を使用せず、から拭きか水拭きをしてください。



警告

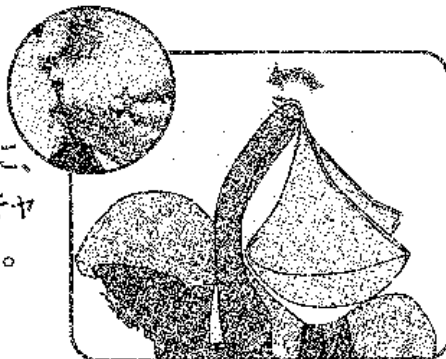
レーマー・ベビーセーフ プレミアムは、シートカバーなしでは絶対に使用しないでください。

目 サンシェードの取扱い

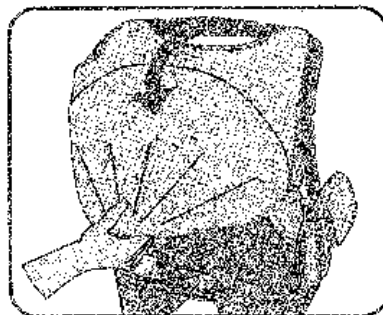
レーマー・ベビーセーフ プレミアムは、直射日光からデリケートな赤ちゃんを守るサンシェードが付属されています。
(ご購入時は、レーマー・ベビーセーフ プレミアム本体に取付けてあります。)

サンシェードの取付け

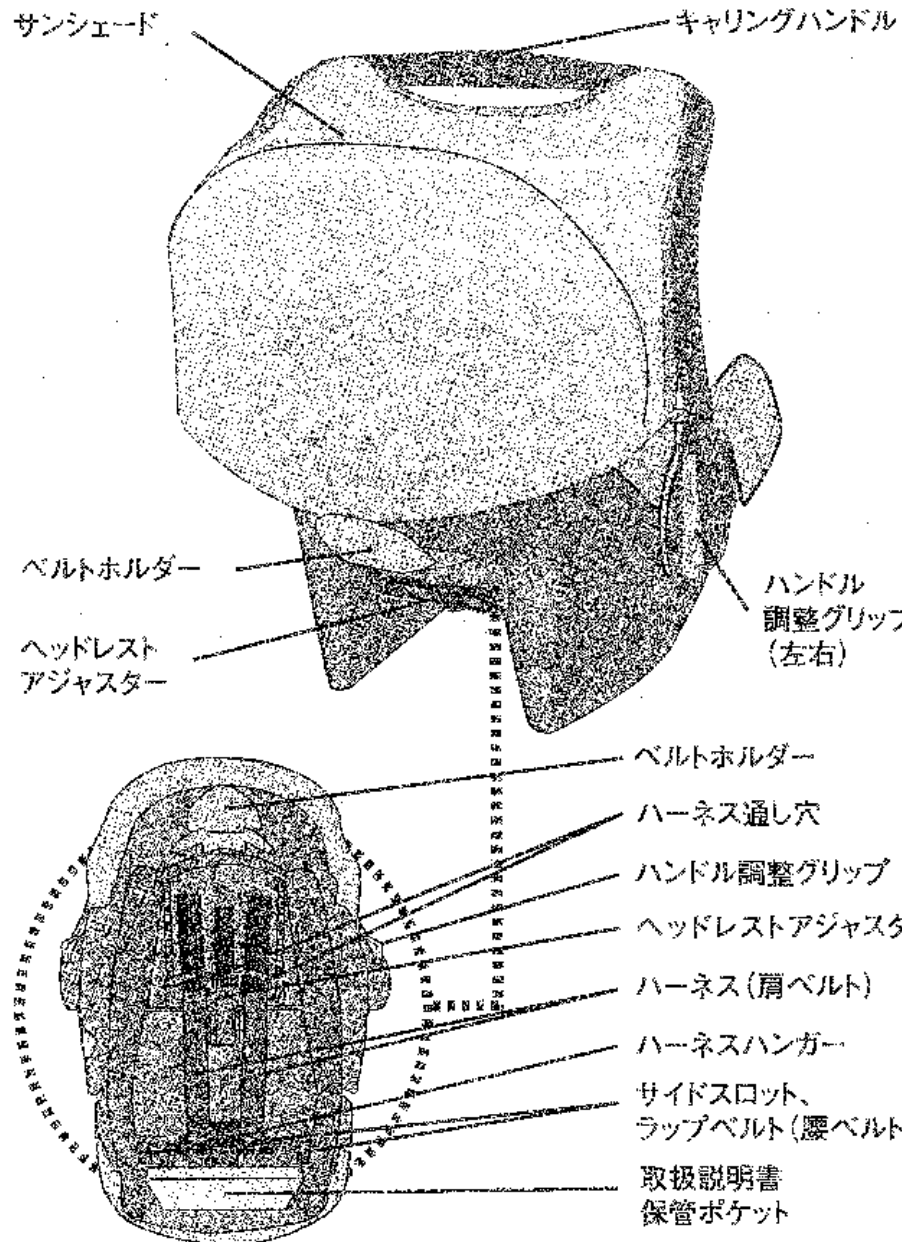
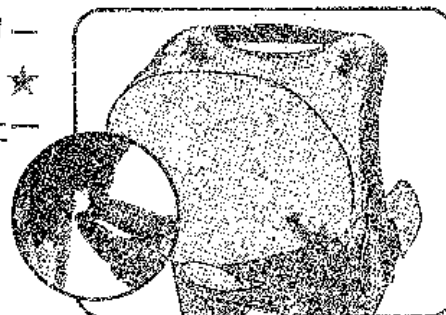
1. 押しボタンが上向きになるように、サンシェードのゴムベルトをキャリアハンドルに取り付けます。



2. 伸び縮みする縁をベビシート上部に回します。ゴム輪をベビシート端の下にあるホックに掛けます。



3. サンシェードの端をキャリアハンドルの上から引いて、★印のフック(左右)にサンシェードを取り付けます。



5 ハーネスの調節と赤ちゃんの乗せ方

a. キャリングハンドルの調節

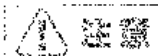
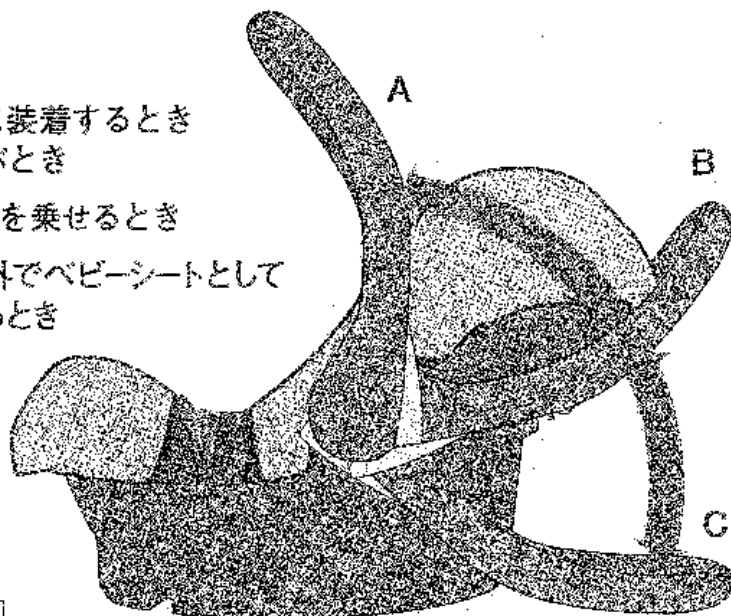
レーマー・ベビーセーフプレミアムは、乗降車時に赤ちゃんをレーマー・ベビーセーフプレミアムから降ろさず、キャリングハンドルで赤ちゃんを乗せたまま移動できます。

キャリングハンドルはA、B、Cの3ヶ所の位置で固定できるようになっています。

A: クルマに装着するとき
持ち運ぶとき

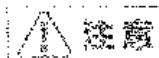
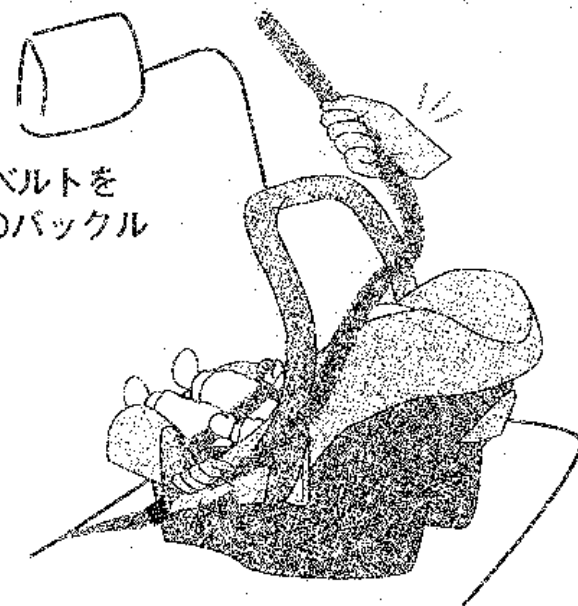
B: 赤ちゃんを乗せるとき

C: 車両以外でベビーシートとして
使用するとき



自宅など車両以外での使用の際も、赤ちゃんは必ずレーマー・ベビーセーフプレミアムのハーネスで固定してください。また、滑りやすい場所、不安定な場所、ひっくり返る可能性のある場所等では絶対に使用しないでください。

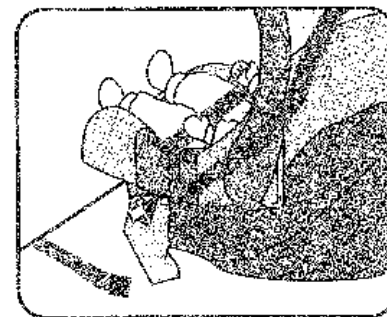
2. 車両3点式シートベルトを
持ったまま、車両のバックル
を解除します。



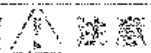
レーマー・ベビーセーフプレミアムを車両から取外す際、車両バックルの解除は、必ず車両3点式シートベルトを持って解除し、取外してください。バックルを急に解除すると、巻取装置により3点式シートベルトが急に跳ね上がり、赤ちゃんがケガをする場合がありますので十分注意してください。

3. 車両3点式シートベルトの腰
ベルトをシートベルトガイド
から取外します。

4. 車両3点式シートベルトを完
全に解除したあと、赤ちゃん
を乗せたままレーマー・ベビー
セーフプレミアムを車両から
取外します。



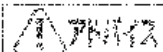
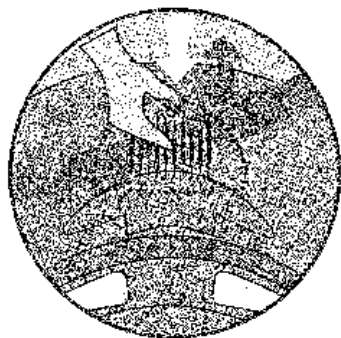
7 車両からの取外し方法



注意

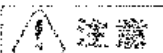
車両からレーマー・ベビー・セーフプレミアムを取外す際、赤ちゃんのハーネス(肩ベルト)を取外したり、緩めたりしないでください。

1. ベルトホルダーを手前に引きながら、車両3点式シートベルトの肩ベルトをフックから取外します。



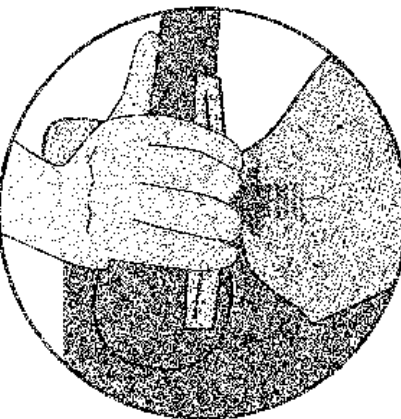
アドバイス

車両3点式シートベルトを自動ロック(ALR機能)させた状態では最初にバックルを解除しないでください。

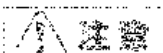
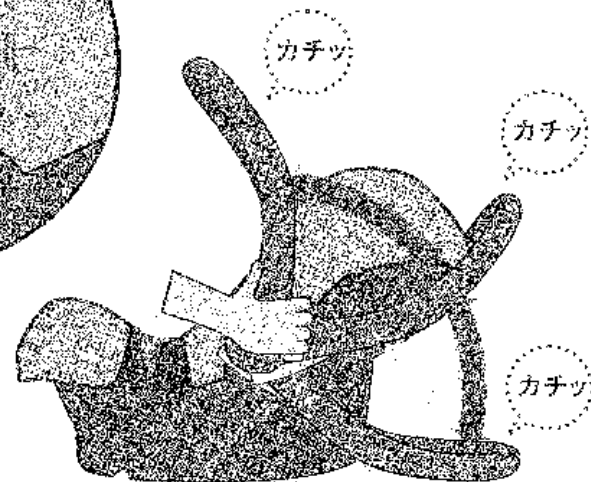


注意

ベルトホルダーを手前に強く引っ張ったり、折り曲げようとしてしないでください。ベルトホルダーが破損することがあります。



キャリングハンドルの調節方法は、キャリングハンドル左右にあるハンドル調節グリップを、両手でしっかりと握りながらA・B・Cの位置まで移動させてください。A・B・Cの位置にくると「カチッ」という音とともに、自動的にハンドル調節グリップが戻り、ロックが完了します。



注意

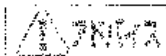
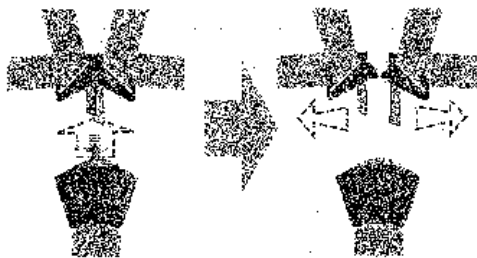
赤ちゃんを乗せ、持ち運ぶ際には赤ちゃんがレーマー・ベビー・セーフプレミアムのハーネスでしっかりと固定されていることと、キャリングハンドルがロックされていることを再度確認してください。

目 ハーネスの調節と赤ちゃんの乗せ方

b.バックルとプレートの取扱い

バックルの取外方法

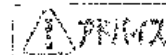
レーマー・ベビーセーフ プレミアムのバックルボタンを押し、プレートを外します。プレートは左右に分かれます。



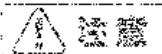
バックルは誤操作防止のため、若干硬めに設定されています。

バックルの取付方法

取付けは、プレートの右側の溝に左側のプレートをはめ合わせて一体化させ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込みます。



プレートは片側だけではバックルに差し込むことができません。



バックルが「カチッ」と音がせず差し込めない時は、バックルボタンを何度か強く押し込んでください。

それでも機能しない場合には、ほこりや食べかすなどの汚れにより正しく機能していないおそれがありますので、「9a.お手入れ」を参照してください。

4. シートベルトガイドに、車両3点式シートベルトの腰ベルトが正しく通してありますか？

→ P.21.22 (6.車両への取付方法③、④参照)

5. ベルトホルダーに、車両3点式シートベルトの肩ベルトが通してありますか？

→ P.23 (6.車両への取付方法⑤参照)

6. 車両3点式シートベルトにねじれやたるみがありませんか？

→ P.21~24 (6.車両への取付方法③~⑥参照)

6 車両への取付方法

a. チェックリスト (6項目)



レーマー・ベビーセーフプレミアムを正しく使用していたため、下記による取付方法に関する内容を必ず確認ください。

1. 車両 3 点式シートベルトで、レーマー・ベビーセーフプレミアムが取付けされていますか？

- P.6 (2.こんな車両には取付けできません参照)
- P.7 (3.車両シートベルトの種類と取付け注意点参照)

2. レーマー・ベビーセーフプレミアムが、車両進行方向に対して後向きに取付けられていますか？

- P.6 (2.こんな車両には取付けできません参照)
- P.19 (6.車両への取付方法①参照)

3. レーマー・ベビーセーフプレミアムの背中面の角度がおおよそ45°に調節してありますか？

- P.20 (6.車両への取付方法②参照)

C. ハーネス (肩ベルト)・ラップベルト (腰ベルト) の長さ調節

レーマー・ベビーセーフプレミアムのハーネス (肩ベルト)・ラップベルト (腰ベルト) はアジャストストラップとアジャストボタンで簡単に調節できます。

締め方

1. レーマー・ベビーセーフプレミアムのアジャストストラップを引き、調節します。

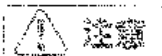


注意

締付けの目安は、赤ちゃんのハーネス (肩ベルト) との間隔が大人の指で2本程度となります。

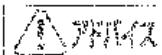
緩め方

2. レーマー・ベビーセーフプレミアムのアジャスターボタンを押しながら、ハーネス (肩ベルト) を緩めます。



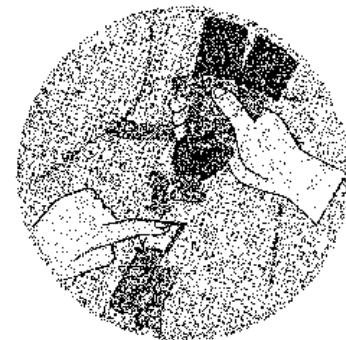
注意

肩パッドは引っ張らないでください。



アドバイス

アジャスターボタンは、アジャストストラップ緩元部にあります。




目 ハーネスの調節と赤ちゃんの乗せ方

d. ハーネスの高さ調節

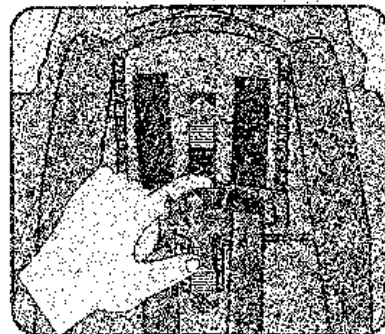
レーマー・ベビーセーフプレミアムのハーネス(肩ベルト)、ヘッドサポートは赤ちゃんの体の大きさに合わせて7段階の高さ調節が出来ます。

1. レーマー・ベビーセーフプレミアムのアジャスターボタンを押しながら、ハーネス(肩ベルト)を緩めます。

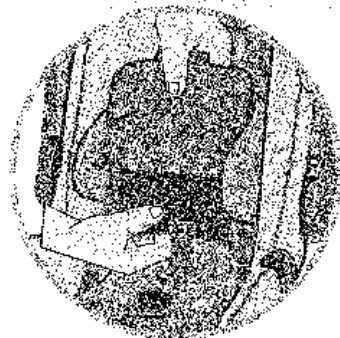
 **注意** 肩パッドは引っ張らないでください。



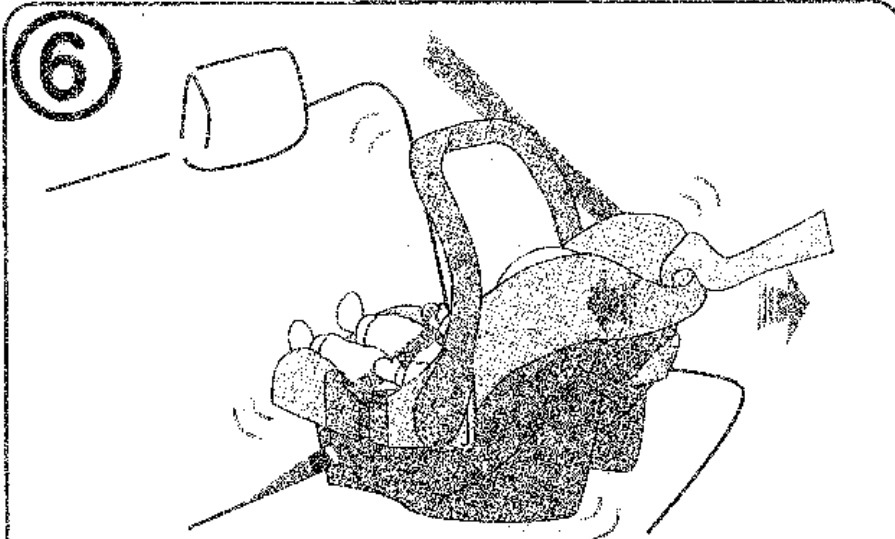
2. レーマー・ベビーセーフプレミアム裏側より、ヘッドレストアジャスターのボタンを手前に引き上げ、赤ちゃんの肩の位置まで移動します。



ハーネス(肩ベルト)の調節の際、ヘッドサポート裏面の座面クッションはハーネスポジションが一番下の状態でのみ使用可能となります。それ以外のポジションでは、必ず取外してください。(裏側のポケットより取出します)



ルトの種類と取付け注意事項」を参照してください。



6. 車両にしっかりと取付けできているかを確認するため、レーマー・ベビーセーフプレミアムを前後に動かし、ぐらつきのないこと、また、レーマー・ベビーセーフプレミアムの背面の角度がおおよそ45°になっていることを確認してください。

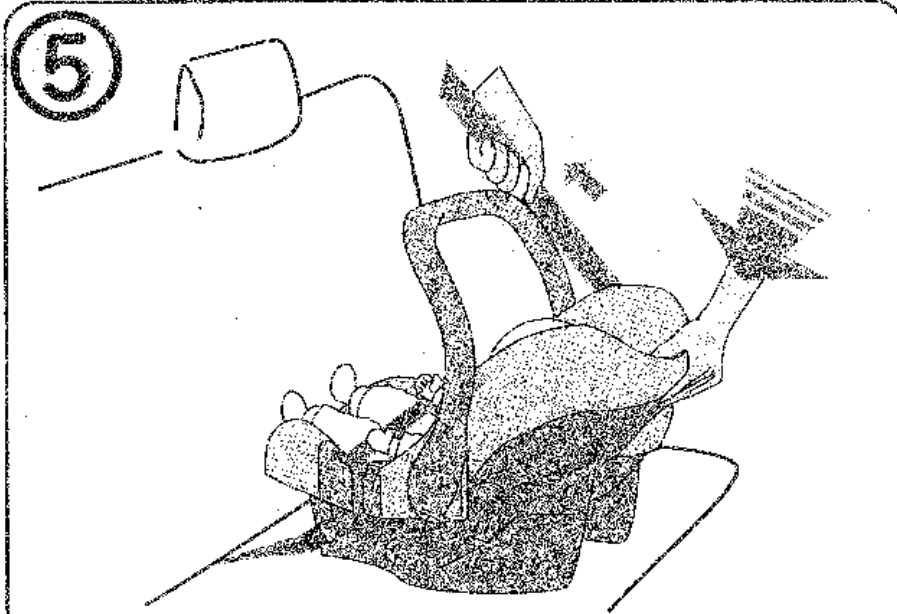


車両3点式シートベルトにたるみがある場合、チェックリストに従って再度、正しい取付けの確認をしてください。



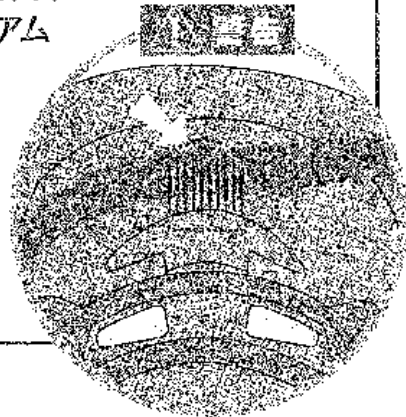
目 車両への取付方法

「2. こども車両には取付けられません」及び「3. 車両シートへ必ず車両3点式シートベルトで取付けてください。」



5. たるみを取った車両3点式シートベルトをレーマー・ベビーセーフプレミアム[®]の背面にまわし、ベルトホルダーに通します。肩ベルトを引上げ、シートベルト全体のたるみを取り、レーマー・ベビーセーフプレミアムを車両にしっかり取付けます。

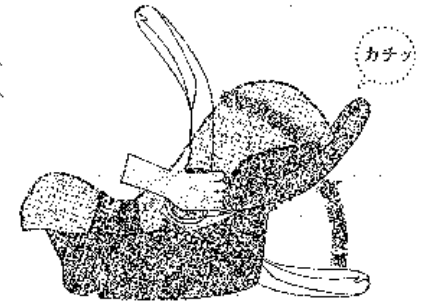
注意
ベルトホルダー内のフックに車両の3点式シートベルトがかかっているかを確認してください。



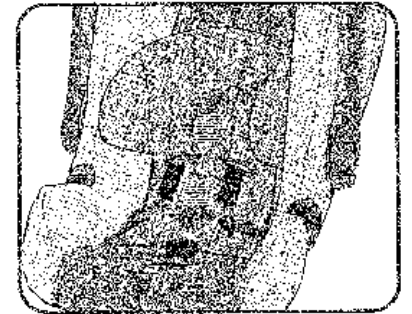
e. 赤ちゃんの乗せ方

注意 レーマー・ベビーセーフプレミアムに赤ちゃんを乗せる際には必ず直車を引ってください。

1. キャリングハンドルの調整を行ってください。(5a. キャリングハンドルの調整参照)



2. 必要に応じて赤ちゃんの体格に合ったハーネスの高さ調節を行ってください。(5d. ハーネスの高さ調節参照)



注意
ハーネス(肩ベルト)は、絶対に赤ちゃんの肩の位置より上のハーネスポジションに設定しないでください。事故の際非常に危険です。



目 ハーネスの調節と赤ちゃんの乗せ方

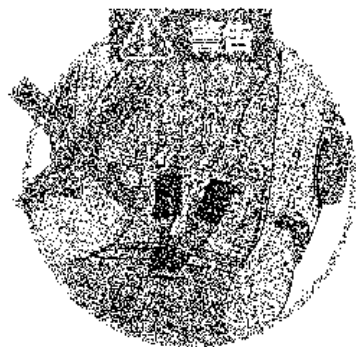
以下の種類と取付け注意点を参照してください。

e. 赤ちゃんの乗せ方

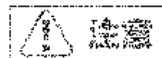
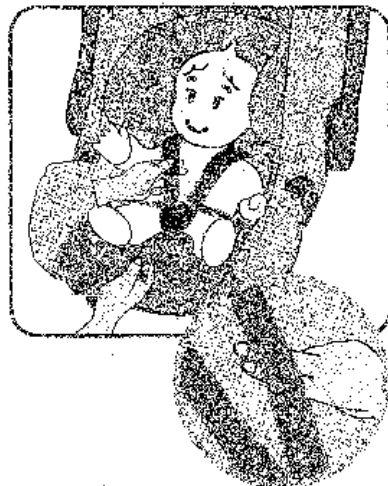
3. レーマー・ベビーセーフ プレミアムに赤ちゃんをしっかりと座らせ、ハーネスをかけたあと、プレートを一体化させバックルに「カチッ」と音がするまで差し込みます。



取付けの際、レーマー・ベビーセーフ プレミアムのハーネス(肩ベルト)がねじれていないかを確認してください。

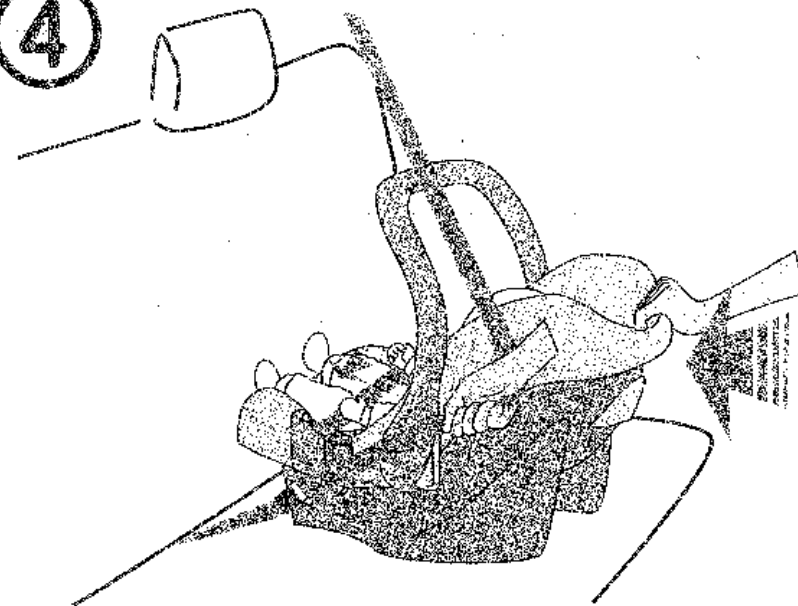


4. ハーネス(肩ベルト)、ラップベルト(腰ベルト)に緩みがなくなるようアジャストストラップを引っ張り、締めます。

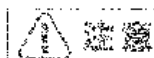
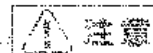


締めつけの目安は、赤ちゃんとハーネス(肩ベルト)との間が大人の指でちょうど2本程度となります。

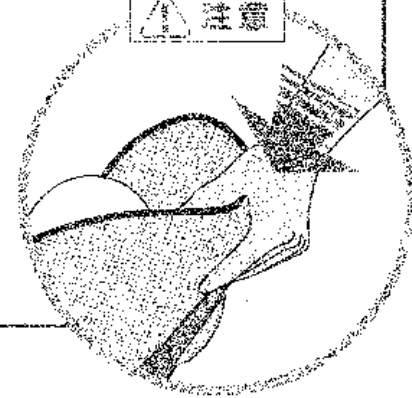
④



4. レーマー・ベビーセーフ プレミアムを車両座面に押しつけながら、車両3点式シートベルトを引上げ、腰ベルトのたるみを取ってください。



必要以上にチカラを加えると、発泡ポリスチレンを破損するおそれがあります。

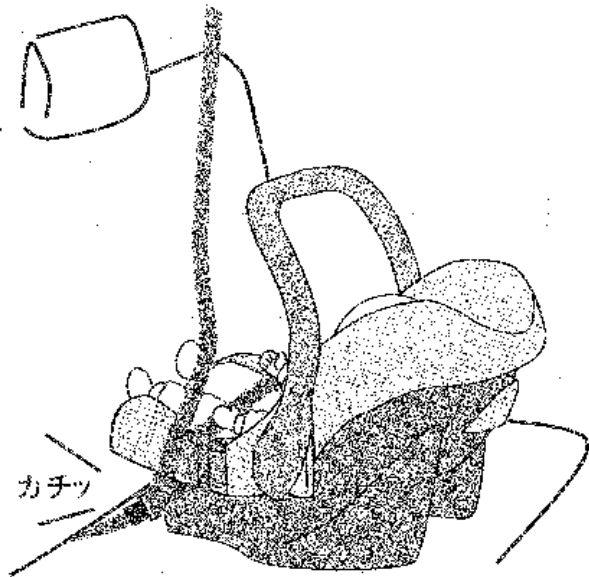


6 車両への取付方法



「2.こちらを車両には取付けられません」及び「3.車両シートへ必ず車両3点式シートベルトで取付けてください。」

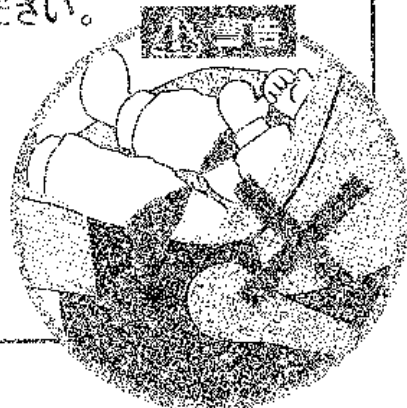
3



3. 車両の3点式シートベルトをレーマー・ベビーセーフプレミアムの上を通して、車両のバックルに「カチッ」と音がするまで差し込み、3点式シートベルトの腰ベルトをレーマー・ベビーセーフプレミアムの両側のシートベルトガイドに通してください。



シートベルトにねじれやたるみがあると、レーマー・ベビーセーフプレミアムを正確に取付けることができません。



f. チェックリスト (4項目)



レーマー・ベビーセーフプレミアムを正しく使用していただくため、下記による赤ちゃんの乗せ方に関する内容が必ずご確認ください。

1. プレートがバックルにしっかりとハマっていますか？

→ P.13 (5b.バックルとプレートの取扱い参照)

2. ハーネス(肩ベルト)が緩んでいませんか？

→ P.14 (5c.ハーネス(肩ベルト)とラップベルト(腰ベルト)の長さ調節参照)

3. ハーネスポジションは、正しいですか？

→ P.15 (5d.ハーネスの高さ調節参照)

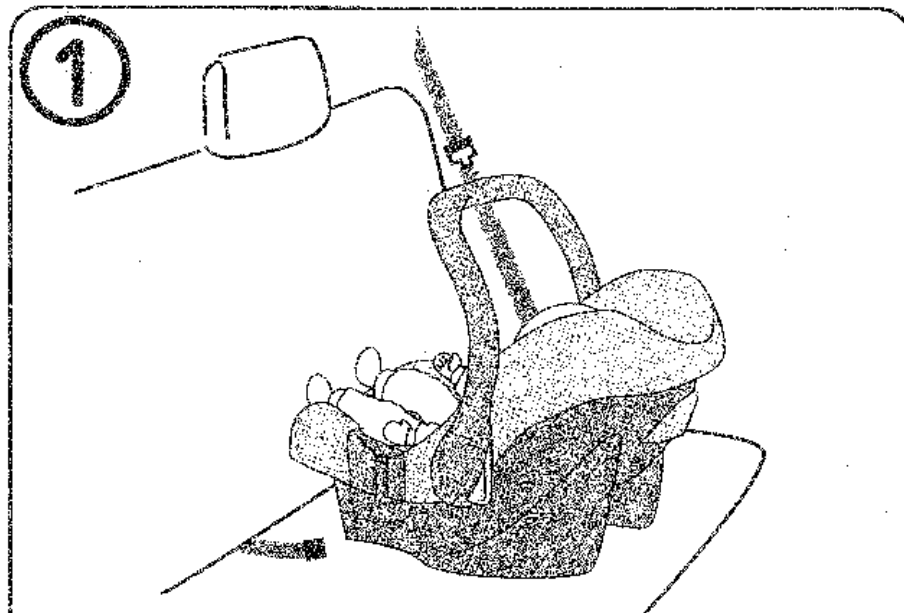
4. ハーネス(肩ベルト)が、ねじれていませんか？

→ P.17 (5e.赤ちゃんの乗せ方参照)

③車両への取付方法



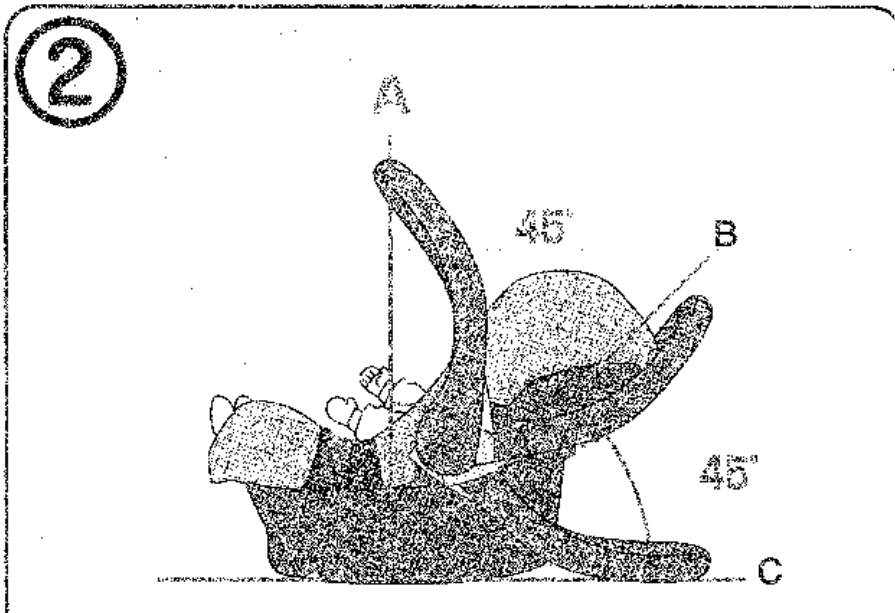
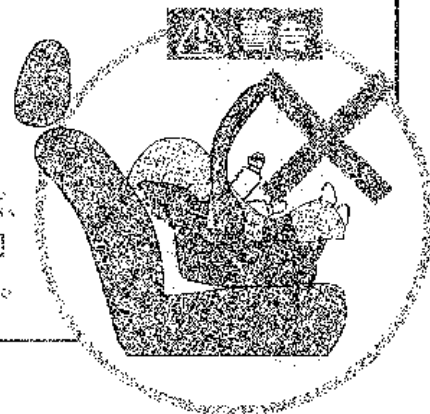
「2. 異なる車両には取付けられません」及び「3. 車両シートベルトの種類と取付け注意点」を参照してください。
必ず車両ノックアウトベルトで取付けてください。



1. レーマー・ベビーセーフプレミアムの座面先端部が車両のシートバック(背もたれ)に当たるよう、車両の進行方向に対して後向きに設置します。



エアバックが装備されている助手席、また車両の進行方向に対して前向きや横向きには取付けできません。



2. キャリングハンドルはAの位置にし、レーマー・ベビーセーフプレミアムの背中面の角度がおおよそ45°になるように調節してください。



車両の座席形状により、おおよそ45°の角度に調節できない場合には、レーマー・ベビーセーフプレミアムと車両の隙間には、固めのクッションや毛布などを入れて、調節してください。

